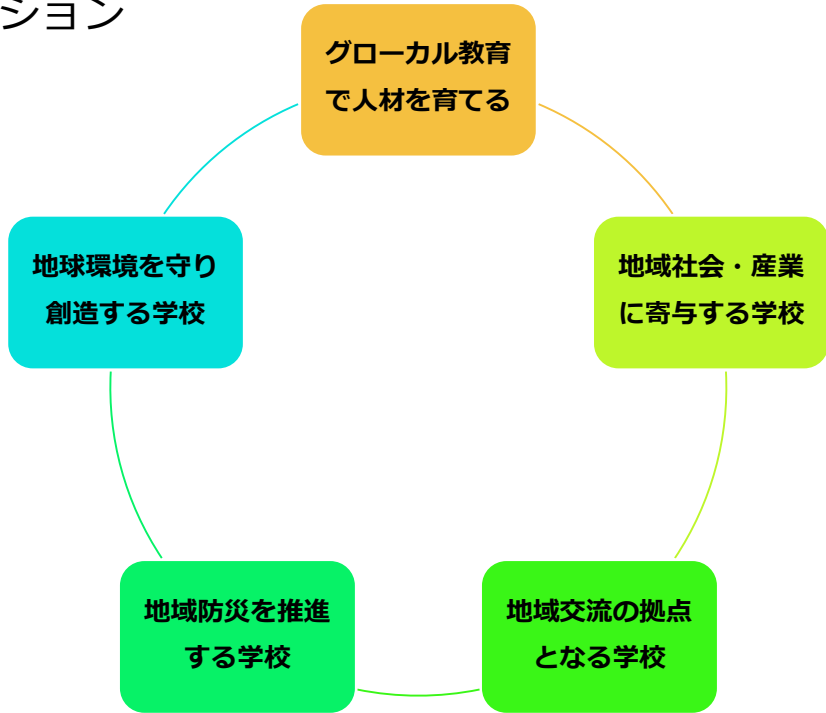


アクションプランについて（全国農業高等学校長協会）

実施開始 平成30年（2018年）7月
検証開始 令和2年（2020年）10月
目標達成 令和4年（2022年）3月
新プラン 令和4年（2022年）4月

1. 次の5つの基本方針（目指す学校像）

農業高校のミッション



2. 10の行動計画

5つの基本方針を具現化するために、10の行動計画を定めました。
我々農業高校は、以下に示す行動計画に従って具体的な行動を起こしていきます。

No.	行動計画	キーワード
1	「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。	アグリマイスター顕彰
2	「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	グローバル教育
3	「地域農業の生産を支える」教育を行います。	生産技術・経営
4	「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。	地域産業貢献・6次産業化
5	「地球環境を守り創造する」教育を行います。	環境技術・創造
6	「食農」教育を推進します。	食農教育
7	「地域資源を活用する」教育を行います。	資源活用
8	「地域交流の拠点となる」教育を行います。	ヒューマンサービス
9	「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。	地域連携
10	「地域防災を推進する」教育を行います。	地域防災

3. 本校における10の具体的実践

実践1

「生徒一人一人を一層輝かせ成長させる」教育を行います。

1人1人が自分の生き方をデザインし、進路実現に必要な力を身につけるため、基礎学力の向上、資格取得、キャリア教育などに積極的に取り組みます。

実践6

「食農」教育を推進します。

家庭科教科との連携を行うとともに、地域の学校給食の研究など食の活動を行います。

実践2

「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。

信州大学、JOCAと連携し伊那谷、信州について学ぶと同時に国際理解教育を進め海外研修、留学生との交流に取り組みます。

実践7

「地域資源を活用する」教育を行います。

農産物、畜産物、森林から有害鳥獣、昆虫まで地域の資源を活用した教育を推進します。

実践3

「地域農業の生産を支える」教育を行います。

「上農でわたしと伊那谷をデザインする」のストーリーガンのもと地域の様々な産業について学び、農業を中心に伊那谷を一層活力ある地域にデザインできる生徒を育てます。農業生産者等の協力により生徒インターンシップ(デュアルシステム)に取り組み将来の農業経営者を育てます。

実践8

「地域交流の拠点となる」教育を行います。

地域の小、中、大、特別支援などの各学校と交流や、生産物の販売や公開講座などを通じて地域交流を積極的に行います。

実践4

「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する」教育を行います。

地域の農業団体と連携し、地域の特産物を利用した加工品の開発、販売を行います。また、地域の団体や農業生産者と連携し地域特産の農産物の生産やスマート農業にも取り組みます。

実践9

「各種農業関係機関・団体と連携した」教育を行います。

行政機関、研究機関、生産者団体、学校と幅広く連携し、職員、生徒の研修、研究を行います。

実践5

「地球環境を守り創造する」教育を行います。

命に問いかけ、自分で考え、実践で表現する学習を行うことで地域に残る貴重な地区の整備や希少生物等の生物保護活動など地域産業の発展に寄与できる活動に取り組みます。

実践10

「地域防災を推進する」教育を行います。

地域の避難所としての学校の在り方、行動計画について研究し、地域防災に貢献できる教育に取り組みます。